

PRESS RELEASE

2015年2月19日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、電力小売事業者向け「スマートメーター活用プラットフォーム」を発表

— スマートメーターとHEMS、BEMSをつなぐBルートでの高速かつセキュアなデータ活用を実現し、
新サービスの迅速な立ち上げを支援する「PMSサービスプラットフォーム」を提供 —

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、スマートメーターを活用したサービスを提供するためのシステム基盤として「PMS(Power Metering System)サービスプラットフォーム」を開発し、商用化に先駆けて2015年6月上旬より、電力小売事業者向けに実証実験環境を提供開始いたします。

「PMS サービスプラットフォーム」では、IIJの強みであるインターネット及びクラウドサービスの運用技術、さらに自社の特許技術を活かし、以下の3つのシステム要素全てをワンストップで提供いたします。

1. 「SA-W1」: スマートメーターの検針データをリアルタイムで取得し、連携するクラウドシステムと通信を行うサービスアダプタ製品
2. 「PMS」: 検針データを蓄積、管理するためのクラウド型自動検針システム
3. 「SACM(Service Adaptor Control Manager)」: 「SA-W1」を遠隔から集中管理するマネジメントシステム(※1)

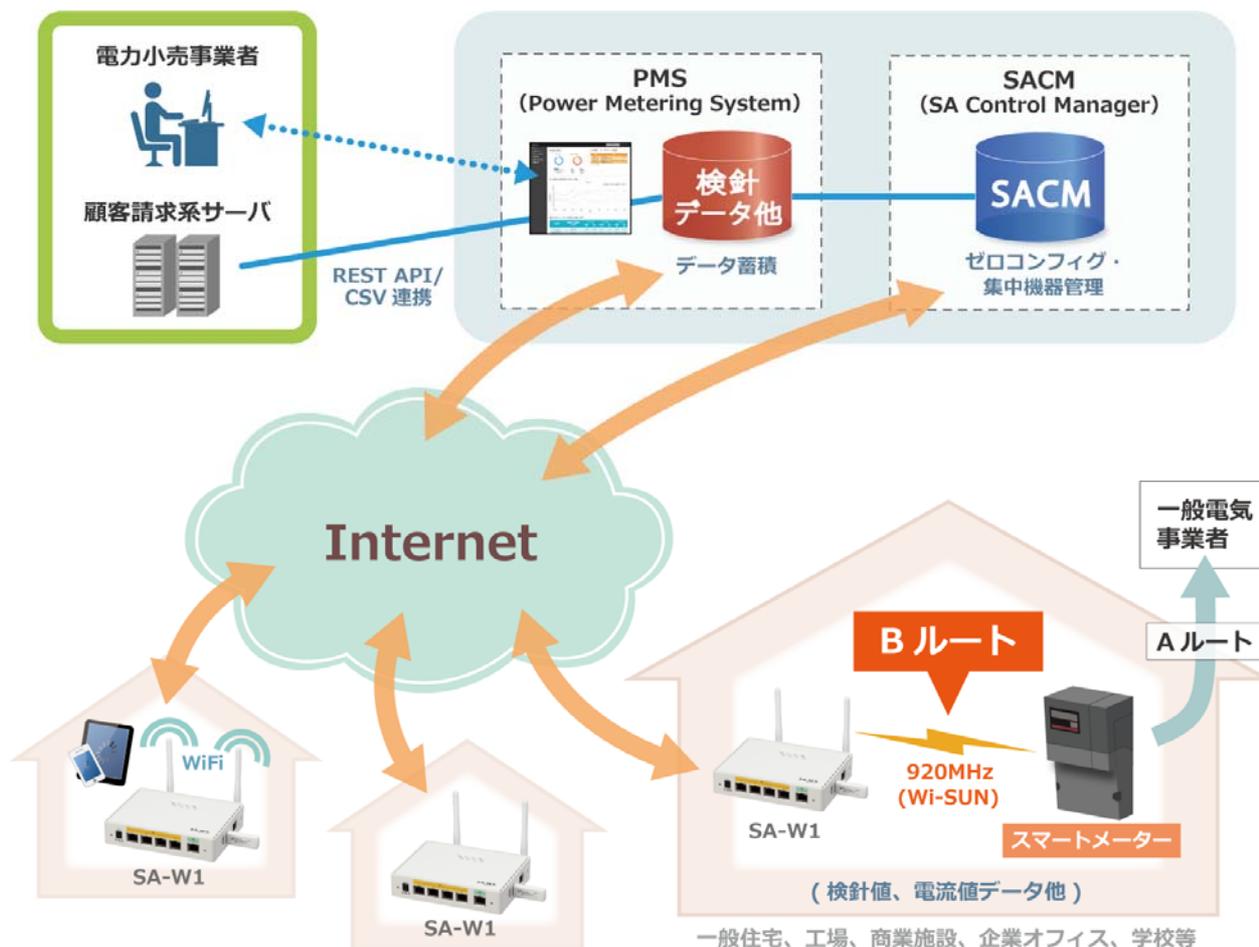
IIJでは、本プラットフォームの商用化に向け、SA-W1において、ECHONET Lite 認証および SMA 認証(※2)を、2015年1月に取得しました。これらの認証を取得したことにより、SA-W1は、スマートメーターの標準無線通信規格である Wi-SUN 対応の通信モジュールを用いて、スマートメーターと家庭内の機器をつなぐ B ルート(※3)による電力検針データの取得が可能となりました。

電力小売事業者は、本プラットフォームを利用することにより、スマートメーター(Bルート)の検針データを高速かつセキュアに活用することができるため、新しいサービスやビジネスを短期間で立ち上げることが可能となります。6月より提供予定の実証実験環境は、本プラットフォームの有用性や実用性を事前に検証する目的で、無償で利用いただけます。

2016年度の電力小売自由化に向けて、家庭やオフィスへのスマートメーター導入が進み、多くの電力小売事業者が市場に参入すると予想されています。それに伴い、様々な料金プランや新たなサービスが提供され、消費者にとってはライフスタイルに適した電力供給メニューを選択することが可能になると期待されています。一方で、電力小売事業者にとっては、スマートメーターの活用により消費者の電力使用状況をきめ細かく計測することで、効果的な電力供給計画立案が可能になります。

そのような市場環境を背景に、IIJは、通信機器からネットワーク、セキュリティ、クラウド環境まで、必要なソリューションを一括で提供することにより、電力小売事業者の新たなサービスやビジネス創出を支援し、電力市場における本プラットフォームの利用を推進してまいります。

図:PMS プラットフォームの提供イメージ



本プラットフォームで提供される3つのコンポーネントの主な特長と機能は、以下のとおりです。

SA-W1 (ルータ機能を搭載した自社開発のサービスアダプタ)

- ・スマートメーターの電力検針値を取得しPMSまで送信する機能
- ・ECHONET Liteに対応した機器に対して通信・制御機能
- ・電源を入れるだけで自動接続・自動設定が可能(ゼロコンフィグ)
- ・FTTHやモバイル等の各種回線に対応したルータ機能
- ・法人向けルータ市場での豊富な実績に基づくセキュリティと品質

SACM (サービスアダプタ集中管理システム)

- ・SA-W1とのIPネットワークを自動作成
- ・SA-W1の設定、監視、運用を一元管理するコントロールパネル
- ・他システムと連携を行うための豊富なWeb API(※4)により、設定や構築の各種作業を自動化
- ・現地作業者によるネットワーク設定業務などを大幅に低減

PMS (クラウド型自動検針システム)

- ・収集した検針データやシステム全体の動作状況を確認するダッシュボード
- ・スマートメーター動作状況の集中監視。異常検針データを検出し電力小売事業者への通知が可能
- ・スマートメーターと通信するための認証情報を一括設定
- ・電力事業者向けのシステム連携用インターフェースを提供。検針データなどをWeb APIやCSV形式にて容易に取得可能

実証実験環境では、SA-W1 は実機を、SACM と PMS はクラウドサービスとして無償提供予定です。
(回線等は、お客様側でご用意いただく必要があります)

なお IIJ では、第 1 回電力自由化 EXPO にて、本取り組みに関する展示を行います。

名称	第 1 回 電力自由化 EXPO
会期	2015 年 2 月 25 日(水)～27 日(金) 10:00～18:00 ※最終日は 17:00 終了
会場	東京ビッグサイト 西ホール 1 階
コマ位置	W18-11

IIJ は、今後も電力小売事業者向けの新たなソリューションを継続的に提供し、低コストで高効率な事業推進を支援してまいります。

(※1) SACM (Service Adaptor Control Manager):IIJ が独自開発したネットワークマネジメント「SMFv2(日本:特許第 4463868 号、米国:特許 7660266 号)」の自動接続、完全管理の仕組みを OEM 提供するための、マネジメントサービス基盤。SMFv2 は SA-W1 や他社のネットワーク機器の、初期設定から設定変更、運用管理までを一元的に管理できる。詳細は <http://www.sacm.jp/> を参照。

(※2) ECHONET Lite 認証、SMA 認証:ECHONET Lite は日本国内の家電メーカーが中心となって設立されたエコーネットコンソーシアムにより策定された HEMS 向けの標準規格。SMA 認証はエコーネットコンソーシアムが策定したスマートメータと HEMS コントローラ間のアプリケーション通信のインターフェース仕様書に基づき実施される、第三者機関での実機試験による仕様適合性認証。認証された機器は、スマートメータ B ルートに接続して情報収集を行える機器として認められる。詳細な情報はエコーネットコンソーシアムホームページを参照 <http://www.echonet.gr.jp/>

(※3) B ルート:スマートメータと建物内の HEMS(家庭向けエネルギー管理システム)や BEMS(ビル向けエネルギー管理システム)のコントローラを繋いでいるルート。様々なデータを元に省エネ化やデマンドレスポンスへのきめこまかい対応が期待されている。

(※4) Web API:Web 技術を用いて、システム間でデータを受け渡しするためのプログラミングインターフェース。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 小河、増田

TEL: 03-5205-6310 FAX: 03-5205-6377

E-mail : press@ij.ad.jp URL : <http://www.ij.ad.jp/>